

屋内活動

プログラム名(コース名)	ジェルアート ※団体主導			
概要	浜名湖で拾った貝殻を使って、カラーサンドで飾り付けを行い、オリジナルの作品を作る。			
ねらい	貝殻を使って、創造する喜びを味わうことができる。 創意工夫をして、オリジナルの作品を完成させることができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～200人(2人以上)
	活動時間	60～90分	活動時期	通年
	活動場所	研修室等	費用	1個400円
	下見	不要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 筆記用具、貝を拾いに行くときの帽子、合羽 (団体) 貝を拭く用のタオル			
安全上の留意点 (具体的な対策方法)	割れたガラスや貝殻によるケガ(道具の取扱いに注意する) 火傷(クリアジェル加熱時、IHヒーターの周りに近づかない) 砂などが目に入る、誤飲			
活動内容(手順)				
<p>事前①指導者配置：製作手順の説明、巡視指導、研修生への指導</p> <p>②実施方法の決定：活動時間・休憩時間の設定、製作する数量</p> <p>③研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認</p>				
活動前①確認事項：人数、健康状態、貸出備品、準備				
<p>活動①指導：指導者より</p> <p>②活動開始：作り方については裏面「ジェルアートの作り方」を参照</p> <p>※貝殻をさわった後は、石けんできれいに手を洗う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖岸で貝殻を拾う。可能であれば前日までに拾っておき、洗ってよく乾かしておく ※雨天時は青年の家にある貝殻を使用するが、貝殻が拾える時間があれば拾って返す ・ガラスに砂を入れて空気を抜く ・貝殻やビー玉など砂の上に飾り付けをする ・ガラスに名前を書いた付箋をセロハンテープで貼る ・ジェルを注いで固まったら完成 <p>※ジェル入れは所員が行う</p> <p>※退所日の活動の場合、ジェルが固まるまでの時間(30分～60分程度)を考慮しないと当日持ち帰れない場合がある (全員分固まらなければ後日受け取りにきていただく)</p> <p>③確認事項：人数、健康状態</p> <p>④振り返り：活動の感想を発表</p> <p>⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰、清掃</p> <p>⑥報告：所員へ終了、研修生の健康状態を報告</p>				

ジェルアートの作り方



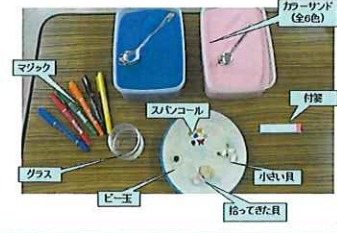
1

活動前の準備

- 団体が活動日までに準備、確認しておくこと
- ① 筆記用具(鉛筆、消しゴム)の持参
 - ② 団体指導者の役割分担、緊急時の対応の確認
 - ③ 実施人数(制作数)の確認
 - ④ 対応の必要な研修生の確認
 - ⑤ 製作手順の確認

2

活動備品①



3

活動備品②



※所員が取扱います。

4

貝を拾いに行く

海岸で貝を拾う



※軍手を着用する。

水道



※拾った貝は、水道で洗う。
※タオルで水気をふき取る。

5

カラーサンドを入れる



タッパーの上で砂を入れよう!

量はコップの半分
以上は入れない

※タッパーの中に入っているスプーンでそれぞれ砂を入れる。
※スプーンで砂を混ぜない。
※新聞紙を下に敷く。
※やり直しができない。

6

コップの底を軽く叩いて空気を抜く



※空気をしっかり抜かないと、ジェルを注いだ時に気泡が発生する。

7

飾り付けを行う

コップの中には「拾った貝・ゼー玉1個・スリベコル3粒・小さい貝の殻まで」



※コップからはみ出さないようにする。
※貝に字や絵を書いてもいいよ。

8

ジェルを袋から取り出しやかんに入れる



ここからの作業は所員が行います!
飾り付けまで出来たら所員を呼んでください!

※ビニール手袋を着用すること。
※やかんの3分の1ぐらいまで入れる。

9

IHヒーターで加熱しジェルを溶かす



※窓の近くで喚起をしながら加熱をする。
※ジェルを少量で加熱をしない。(発火する可能性がある)

10

ジェルを注ぐ



※ゼー玉に直接かけると、割ってしまう可能性があるため貝にかけるようにする。

※ジェルは飾り付けた物が、すべて隠れるまで注ぐ。

11

ジェルが固まったら完成



※注いですぐは、とても熱いので注意。
※固まるまで30分〜50分ほどかかります。

12